



ScanSurvey[®] VC Ver.5

スキャン・サーベイ

GPSカメラシステム

この写真、どこで撮影したのか判らない。

そんな時GPS機能付きデジタルカメラ・携帯電話を使うと、撮影してきた画像データはScanSurveyで作成した基盤データ（座標付き）や市販の電子地図を背景に撮影位置が自動でプロットされ、画像をリンクすることができます。また、データベースの自動登録機能を使うと各種台帳フォームが設定でき、容易にファイル作成、印刷ができます。

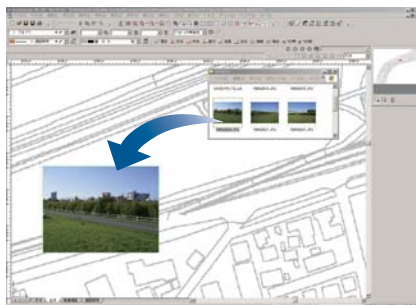
調査業務や定期的な実施される点検業務の位置と状況把握の確認に活用でき、更新業務を自動で行える管理システムです。

特徴

- ◆ 市販電子地図だけではなく既存の各種紙地図を電子化、ScanSurveyで座標補正処理したラスターデータ上に取り込みできます。
- ◆ 調査報告・管理用に作成したデータベース等に画像を自動貼り付けできます。
- ◆ 専用ビューアを活用し、情報の共有が可能となります。
- ◆ 定期調査等に伴う画像データの差し替え処理が自動でできます。

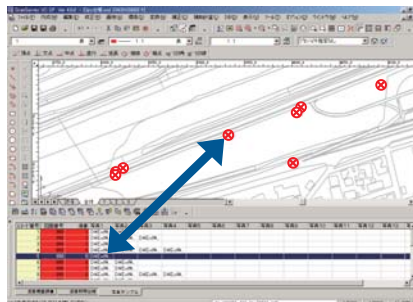
画像データの自動配置

GPS機能付きのデジタルカメラや携帯電話で撮影した画像データを座標付きの図面上の撮影した位置に自動で配置します（画像データもしくはは単点表示）。



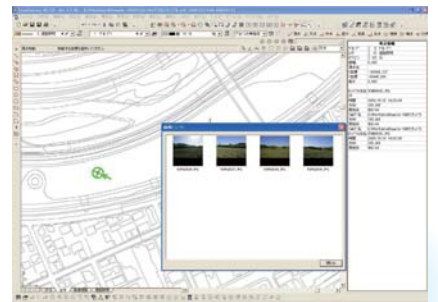
データベースの自動作成

データベースを自動作成し、画像ファイルを複数枚データベースに自動登録します。撮影ポイントとデータベースが自動リンクし台帳印刷、ファイル作成が可能です。※GISオプションが必要となります。



簡易属性への画像取り込み

図面上に自動でシンボルを作成、複数枚の画像ファイルを属性に取り込むことができます。また、シンボルを指示し複数画像の認識管理ができます。



画像データの差し替え

既存のデータベースに写真が取り込まれている場合でも、画像ファイルの座標から該当するレコードを検出し自動更新するので、定期調査等に伴う画像データの差し替え処理が簡単にできます。

情報収集端末比較

デジタルカメラに接続するGPSは様々な機種を接続することができ、簡易的に位置を取得したい場合は、Bluetooth内蔵の携帯GPSを購入することで位置を取得できます。また、計測精度の必要な撮影の場合は、RTK-GPSのようなGPSシステムにBluetooth通信機を接続し、撮影することができます。

現場情報収集端末	画像品質	位置情報精度	撮影者位置取得	被写体位置取得	業務領域	備考
G700SE (デジタルカメラ) Bluetooth内蔵	○	×	○	×	・工事 ・施設管理業務	位置精度10m以下
Pathfinder SB (PDA)	○	○	○	○	・工事 ・施設管理業務 ・保線業務	位置精度2~5m以下
GPS付き携帯電話	×	△	○	○	・工事 ・施設管理業務 ・保線業務 ・その他	位置精度については機種により異なる

※被写体自体の位置を取得したいのであれば、ノンプリズム光波等と連携して使用することも可能です。

活用例

<河川流域調査業務>

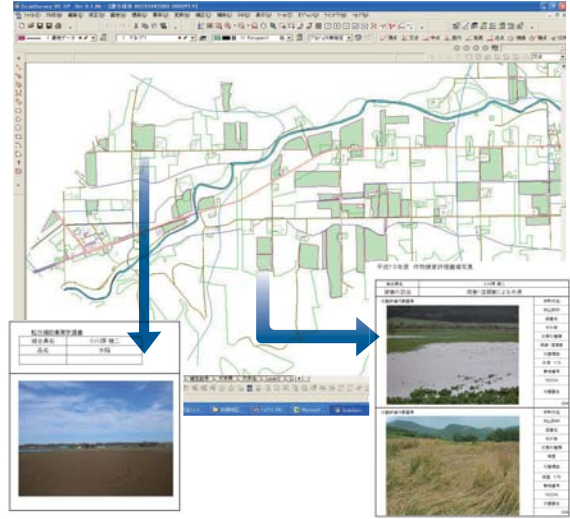
河川流域の植生調査、施設や環境調査といった現場での作業から事務処理の写真整理まで一環した流れで管理システムが構築できます。専用のビューソフトを使用すればいつでも、だれでも現地の状況が迅速に確認でき災害時や経年変化を認識できます。自然保護／駆除区域の選定資料・不法投棄処理・現状復帰処置の対応・対策を講じるにも活躍します。



一河川流域調査一
河川流域の調査全般で使用でき、現状の確認と管理が可能です。Viewerソフトを使用すれば、いつでも閲覧可能となります。

<農地損害、転作対象区域管理>

農地の損害評価、転作対象区域の管理は営農支援に不可欠の業務です。農地管理用GISシステムをすでに導入し、活用しておられる団体様には、既存の農地情報をそのままScanSurveyにインポートし、GPSカメラで現地の被害の概要や対象圃場の確定、また転作対象区域の管理と補助申請書類への転用が容易に行えるツールとして活用できます。



一転作対象区域一
転作箇所の把握と確認、申請書類への活用ができます。

一農地損害評価対象圃場の申請書類一
損害場所や組合員情報、作付け情報を属性から取り込み、帳票へ引用できます。

<災害発生現場調査>

地震・水害等が起きた場合、必ず現地調査に向向く必要があります。このシステムを使用することにより、Webでリアルタイムの災害箇所情報を公開することも可能となり、避難・復旧対策を講じるにも活躍します。

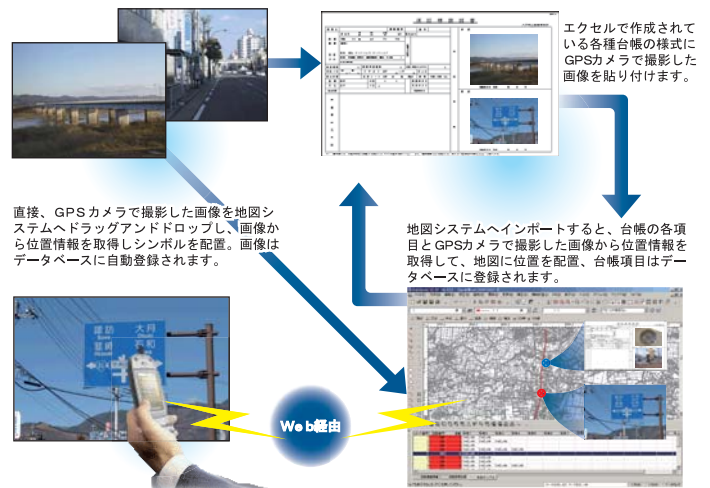


住民が発見した災害箇所等を携帯電話で撮影してメール報告

Web GISを利用して住民への情報提供

<道路管理施設>

標識・街灯・陸橋等の施設は台帳により管理されています。しかし、施設の位置関係があまり把握されていないのが現状だと思われます。このシステムを使用することにより簡単に位置を把握し、台帳と連携した施設の維持・補修・復旧を素早く対応することが可能となります。また、ガードレール破損・標識破損等、住民が見つけた施設を携帯電話で撮影してメールで連絡を受けることができます。



直接、GPSカメラで撮影した画像を地図システムへドラッグアンドドロップし、画像から位置情報を取得しシンボルを配置。画像はデータベースに自動登録されます。

地図システムへインポートすると、台帳の各項目とGPSカメラで撮影した画像から位置情報を取得して、地図に位置を配置、台帳項目はデータベースに登録されます。

エクセルで作成されている各種台帳の様式にGPSカメラで撮影した画像を貼り付けます。